

第3号様式（第6条関係）

令和7年7月15日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙（SDGs 応援事業補助）

（宛先）

戸田市長

団体名

一般社団法人ハートフロッグ

代表者職・氏名

青木 真由美

所在地



事業名	「子どもの居場所づくり」（ワクワクおやつ村）	
SDGs の 該当ゴール	SDGs11「住み続けられるまちづくりを」 ○定期的におやつ村を開催し子ども達が安心して過ごせる環境をつくることで住み続けられるまちづくりに繋がる。 SDGs17「パートナーシップで目標を達成しよう」 ○一人ひとりが我が事として地域の課題を捉え、子ども達が安心して集える居場所作りを地域住民・団体・企業等が協働して進めていく。	
確定前交付の希望	☒ 希望する	☐ 希望しない
連絡担当者	氏名 住所 電話 Fax E-mail	
ホームページ	http://www.facebook.com/share/18N7xX2PaD/?mibextid=wwXlfr	
設立年月日	令和5年2月13日 設立	
会員数	3人	
年会費	0 円／1年間	

団体の目的	地域における全ての人と人の絆に関する企画や教育を行うことで笑顔があふれる地域づくりやまちづくりを行うこと。また、人とのつながりが生まれることで、貧困・いじめ・犯罪の減少にもなると考えられ、世代や立場を超えて支え合える社会の実現を目指す
主な活動実績	○2023 年 10 月より毎月第 3・第 4 水曜日の月 2 回 15 時から夕焼けチャイムまでおやつや軽食を提供 参加者：平均 30 人/回 (会場 2023 年 10 月～2024 年 5 月 笹目 6 丁目アグリマーケット 2024 年 6 月～現在 笹目 6 丁目会館) ○2024 年 5 月 4 日 ボートレース戸田 ROKU にて「出張おやつ村」開催。参加者：新曽笹目地区より 3 家族 14 名 ○2024 年 7 月 31 日～8 月 10 日までの日曜日を除く 10 日間 笹目 6 丁目町会事業協力・戸田市学童保育保管事業として 「戸田っ子サマークラブ」運営補助 参加者：平均 15 人/回 ○2024 年 10 月 13 日笹目 6 丁目町会お神輿・神社 de フェス出店 ○2023 年 7 月より笹目小学校区において「登校見守り活動」 参加継続中 ○会館居栄屋開催 (町会サポート事業)
これまでの補助金等の援助状況	○社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会 令和 5 年度こども食堂・未来応援基金助成事業により 10 万円
団体 P R など	2023 年 10 月より月 2 回のおやつ村開催や年 1～2 回のイベントを続けてきました。5 秒でおやつのお詰め放題・手作り UFO キャッチャーやくじ引き、ゲームなど楽しく安全に過ごせるよう企画。みんなでおやつを食べながら、折り紙や手品をして遊んだり、学校や家での様子を聞きながら安心して楽しく過ごせる温かい居場所になるよう心がけています。 これまで延べ 1140 人の子ども達が参加。「村人」と呼ばれているボランティアスタッフの参加も 1 回あたり 4 人となり、毎回子ども達が安心して過ごせる居場所作りに努めています。「村人」は地域の高校生や大学生、市内外の大人。世代を超えて共に運営しており、これからの地域を支える若者たちの活動の場としても大切な場となっています。また、終了後には皆でフィードバックをして次の活動に活かしています。 法人には社会福祉士や精神保健福祉士等の専門資格を持つメンバーもあり、専門職の視点を子ども達や親への関わりへ活かすことができています。虐待や貧困等、専門機関の関わりが必要な場合にはきちんと繋ぎ地域で安心して過ごせるよう、セーフティーネットの役割も持っています。

《事業企画書》

1 事業の目的・必要性・課題

SDGs の該当ゴール：

SDGs11「住み続けられるまちづくりを」

○対象となる地域には児童館や定期的で開催される子ども達の居場所がない為、世代を超えて交流できる場をつくることで、地域の皆が子どもから高齢者までの心の健康を支え、持続可能なまちづくりを進めることができる

SDGs17「パートナーシップで目標を達成しよう」

○子どもに関する課題を他人事ではなく、一人ひとりが我が事と捉え、地域住民・地域団体・福祉関係団体・企業等が一体になって子どもの食や学習の支援をはじめ子ども達を始めとして多世代が身近に集うことができる居場所作りを進めることで SDGs の協働の担い手になることができる。現在は地域で多世代が集える場があまりないのが現状である。

2 事業の具体的内容

○月 2 回の「ワクワクおやつ村」の定期開催

日程：3. 事業実施のスケジュールの通り

時間：15 時から夕焼けチャイムまで

会場：笹目 6 丁目会館

対象：小・中・高生

定員：40 人

参加費：無料

内容：おやつや飲み物の提供、子どもとイベント企画、卓球やボードゲーム、おやつ作り等。おやつ作りや絵を描くイベントは、講師の方が参加者にレクチャーをします。

講師：白石久美恵他（予定）

実施体制：当会員 2 名、ボランティア 9 名

○登校見守り活動

笹目小学校校門前にて

日程：月曜日、水曜日～金曜日

時間：7:50～8:20

○会館居盛屋（かいかんいざかや）

日程：年度内で 2 回開催予定

場所：笹目 6 丁目会館

対象：全世代

前回は未就学児から 80 代までが参加。「小さな村」ができるのが目標

参加費（大人のみ）500 円 500 円×20 人

内容：飲み物、食べ物を提供（持ち込みあり）、地域の多世代の交流。

地域の人が町会会館を居場所とすることができ、盛えることを目的に開催。

3 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
7月 16日・23日	ワクワクおやつ村
8月 20日・27日	ワクワクおやつ村
9月 17日・24日	ワクワクおやつ村
10月	笹目神社お神輿出店 (開催日未定)
10月 15日・22日	ワクワクおやつ村
11月 19日・26日	ワクワクおやつ村
12月 20日	ワクワクおやつ村 クリスマス会
令和8年1月 21日・28日	ワクワクおやつ村
2月 18日・25日	ワクワクおやつ村
3月 18日・25日	ワクワクおやつ村
開催日未定	会館居盛屋

4 事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

- 「ワクワクおやつ村」平均参加者 30 名
 - *参加者人数は前年度と同じとなっているが、これは参加者が多すぎるとスタッフの目が届かなくなってしまうため。
- イベント参加者平均 20 名
- 親子参加者を増やす延べ 10 組
- 地域の児童委員・民生委員、自治会等へ「ワクワクおやつ村」等の開催を周知
 - *現在も自治会会合等へ出席し、ハートフロッグの活動紹介を行っている。
 - 引き続き子ども達へ届くよう、周知していく
- SNS 等を利用して活動を周知し、地域の企業へ当事業の必要性を伝え、それぞれの企業の強みや専門性を生かした関わりや参加、協賛金への協力を依頼する。
 - また、身近で支援してくれる人へ寄付のお願いをする。
 - 寄付の目標である 45,000 円のうち、既に 20,000 円の寄附あり。
- *おやつ村やイベント開催時の講師等として、それぞれの専門を生かした企画の提供等の依頼。子ども達の様々な経験が豊かな将来に繋がるよう、地域の大人達の協力を得ていく
- *協賛金目標 1 社 10,000 円×5 社

《収支予算書》

【収入】

科 目		予 算 額	内 訳
補助金・ 助成金	当補助金	50,000	戸田市共創のまちづくり補助金
	その他	0	
自己資金		65,060	
会費		0	
利用者負担金		0	
協賛金・寄附		25,000	
その他		0	
合 計		140,060	

【支出】

	科 目	予 算 額	内 訳	
補助 対象 経 費	食糧費	57,600	ワクワクおやつ村等にて提供するお菓子・飲み物等 2,400円/1回×24回	
	消耗品	30,000	文房具、キッチン用品、IH調理器等	
	印刷製本費	5,060	チラシ、ポスター等の印刷代	
	謝礼金	30,000	講師、協力者への謝金等 白石久美恵 15,000円 佐藤英子 15,000円	
小 計		122,660	内	補助金申請額：50,000
			訳	自主財源：72,660
補助 対象 外 経 費	福利厚生費	7,400	スタッフとの食事代等	
	交際費	10,000	講師との打ち合わせ	
小 計		17,400		
合 計		140,060		

